

2022年7月13日

カトリック学校関係者各位

日本カトリック教育学会会長 吉岡 昌紀
第46回全国大会委員長 牛渡 淳
大会事務局 加藤 美紀

日本カトリック教育学会 第46回全国大会のご案内

謹啓 盛夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より本学会の活動に対してご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、日本カトリック教育学会第46回全国大会は、2022年8月26日(金)から28日(日)の3日間にわたり、仙台白百合女子大学(宮城県仙台市)において開催されます。今回の大会は、十分な感染対策をとりながらの通常の対面での実施に加えて、会場での参加が難しい方もオンラインで参加できるハイブリッド型で開催いたします。そこで、カトリック学校に関係する方々、カトリック教育に関心をお持ちの方々に広く公開したいと願い、学会会員の枠を越えて、多くの皆様にご案内申し上げます。

本大会は「新しい展望に立つカトリック教育—災禍の経験から『希望の教育』へ—」というテーマのもとに行われます。仙台をはじめ宮城には、キリシタンの苦難の歴史があり、2011年には、あの東日本大震災に見舞われました。そして、今、私たちは新型コロナウイルスによる未曾有の災禍、さらにはウクライナ軍事侵攻という世界的災禍を経験しています。

本大会では、苦難の歴史を経てきた仙台の地で、改めてカトリックの精神に立ち戻り、カトリック教育の意義を問い直し、新たな展望に立ったカトリック教育のあり方を探してみたいと思います。カトリック学校、カトリック大学はこの相次ぐ苦難の時代をどう捉え、どのようにして乗り越えてきたのか。私たちはこの経験を基にポストコロナの新しい時代に向けて、カトリック教育の新しい姿をどう構想し、実現すべきなのか。私たちが向かう先にある新たな「希望の教育」について、一緒に考えることができたら幸いに存じます。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、カトリック学校教職員の皆様に情報を共有していただき、ご参加を呼びかけていただけますと幸いに存じます。プログラムについて、自由研究発表は参加を会員に限らせていただきますが、ラウンドテーブル、基調講演、シンポジウムは非会員にも公開いたしますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

末筆ではございますが、皆様のご健康と御校のますますのご発展を心より祈念いたしております。

謹白